

- 問1 東京を中心とした「正距方位図法」で描かれた地図において、図の中心である東京から任意の地点までを直線で結んだとき、その直線について正しく述べたものを次の選択肢から選びなさい。（2022年 愛媛県公立入試 類似）
1. 東京から見た方位は正しいが、距離は実際の長さとは異なる。
 2. 東京からの最短距離を示しているが、周辺部にいくほど方位の歪みがなくなる。
 3. 東京からの実際の距離は正しいが、方位は歪んでいる。
 4. 東京からの実際の距離と方位の両方が正しく表されている。
- 問2 二万五千分の一の地形図を用いて実際の地形の範囲や面積を算出する方法について、説明として正しいものはどれか。（2017年 兵庫県公立入試 類似）
1. 地図上の10cmは実際の2.5kmを指すため、地図上で10cm×10cmの正方形の範囲は、実際には25平方キロメートルの面積になる。
 2. 地図上の1cmは実際の250mを指すため、地図上で1cm×1cmの正方形の範囲は、実際には0.0625平方キロメートルの面積になる。
 3. 地図上の1cmは実際の25mを指すため、地図上で10cm×10cmの正方形の範囲は、実際には0.0625平方キロメートルの面積になる。
 4. 地図上の4cmは実際の1kmを指すため、地図上で4cm×4cmの正方形の範囲は、実際には16平方キロメートルの面積になる。
- 問3 世界の地域別人口割合に関する統計資料において、20世紀後半から現代にかけて「常に世界人口の半分以上を占め続けている地域」と、「他地域の人口増加の影響により相対的に割合が低下し続けている地域」の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2023年 和歌山県公立入試 類似）
1. 半分以上を占める地域：アジア / 割合が低下している地域：ヨーロッパ
 2. 半分以上を占める地域：アフリカ / 割合が低下している地域：アジア
 3. 半分以上を占める地域：アジア / 割合が低下している地域：アフリカ
 4. 半分以上を占める地域：ヨーロッパ / 割合が低下している地域：北アメリカ
- 問4 1/25,000の地形図上で、特定の二点間を結ぶ直線に沿って地表の起伏を垂直方向に切り取った「地形断面図」を作成する際、地形の高さの変化を正確に表現するための最も適切な手順はどれですか。（2026年 茨城県公立入試 類似）
1. 二点間の水平距離を測り、その間の平均的な傾斜角を分度器で算出してから、一定の勾配で直線を描く。
 2. 地形図上の建物や道路がある地点を標高0mとみなし、それ以外の山地の部分だけを等間隔の階段状のグラフにする。
 3. 等高線の間隔が狭い場所を標高が低い地点、間隔が広い場所を標高が高い地点として、垂直軸の値を反転させて記入する。
 4. 直線と交わる等高線の値を一つずつ読み取り、その地点の標高を断面図の垂直軸に対応させてプロットし、それらの点を滑らかに結ぶ。
- 問5 地形図上で、等高線が標高の高い方に向かって食い込んでいる場所を直線が通過しているとき、その区間の起伏の変化を断面図で表すとどのようなになりますか。（2026年 静岡県公立入試 類似）
1. 周囲よりも標高が低くなる「谷」として描かれる
 2. 急激に標高が上がる「崖」として描かれる
 3. 傾斜の変化がない「緩斜面」として描かれる
 4. 周囲よりも標高が高くなる「尾根」として描かれる
- 問6 日本が冬至を迎える12月に、日本からオーストラリアなど南半球の地域へ移動すると、現地は夏となります。このように、北半球と南半球で季節が反対になる理由を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 茨城県公立入試 類似）
1. 地球は地軸を公転面に対して約66.5度傾けたまま公転しているため、12月は南半球側が太陽に対してより傾き、太陽の光を正面に近い角度で受けるから。
 2. 地球の自転速度は季節によってわずかに変化しており、12月は南半球側の回転が緩やかになることで、太陽の熱を吸収する時間が長くなるから。
 3. 南半球は北半球に比べて海洋の面積が広く、12月になると暖流の影響を強く受けることで、大陸全体の気温が北半球よりも高くなるから。
 4. 地球は楕円を描いて公転しており、12月は地球と太陽の距離が最も近くなるため、太陽に近い南半球側の気温が上昇するから。
- 問7 東京を中心とした正距方位図法において、東京からロンドンに向かって直線を引いた場合、その直線が持つ意味として正しいものはどれか。（2015年 岡山県公立入試 類似）
1. ロンドンを通過する経線と東京を通過する経線の間の平均距離
 2. 常に一定の角度を保ちながら進む航路（等角航路）
 3. 緯線に沿って移動した場合の実際の移動距離
 4. 東京からロンドンへ向かう際の航空機などの最短距離（大圏航路）
- 問8 地球上の陸地の区分である「六大陸」について、世界地図において他の大陸とは異なり、人が定住する国家が存在しないという特徴を持つ大陸について、その地理的な状況を正しく説明しているものはどれですか。（2025年 愛媛県公立入試 類似）
1. 六大陸の中で最も面積が小さく、四方を海に囲まれているため、島国のみで構成されている。
 2. 赤道直下に位置し、熱帯雨林が広がっているため、六大陸の中で唯一開発が進んでいない。
 3. 北極点を取り囲むように位置しており、冬の時期には周囲の海洋も凍りついて陸地とつながる。
 4. 地球の最も南側に位置する巨大な陸地であり、大陸の大部分が極めて厚い氷に覆われている。
- 問9 ある資料において、トルコの首都アンカラの位置が「イギリスを通る本初子午線から東へ45度」の地点として示されています。このアンカラの位置を経度を用いて表現したとき、正しいものはどれですか。（2026年 和歌山県公立入試 類似）
1. 東経135度
 2. 西経45度
 3. 東経45度
 4. 西経135度
- 問10 ユーラシア大陸の中央部に位置し、北をロシア、南を中国という二つの大国に挟まれたモンゴルのような国々に共通する地理的な特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 香川県公立入試 類似）
1. 国土の四方が海に囲まれており、陸上の国境線を持たない
 2. 複数の島々によって国土が構成されており、沿岸部が長い
 3. 国土の一部が海に突き出しており、三方を海に囲まれている
 4. 国土の全周が陸地に囲まれており、直接海に面していない
- 問11 世界の国々では、その国の地理的条件や資源の保有状況に応じて主要な発電方式が異なります。中国とブラジルの発電事情について、それぞれの背景を含めた説明として最も適切なものはどれですか。（2026年 三重県公立入試 類似）
1. ブラジルは熱帯雨林のバイオマス発電が約63%を占め、中国は内陸部の砂漠地帯での地熱発電が約65%を占めている。
 2. ブラジルはアマゾン川などの豊かな水資源を活用した水力発電が約63%を占め、中国は国内に豊富な石炭資源があるため火力発電が約65%を占めている。
 3. ブラジルは石油の輸出を優先するため原子力発電が約63%を占め、中国は深刻な大気汚染対策として水力発電が約65%を占めている。
 4. ブラジルは広大な国土での太陽光発電が約63%を占め、中国は沿岸部の偏西風を利用した風力発電が約65%を占めている。
- 問12 ある地域の2万5千分の1の地形図において、地点Cには高等学校の地図記号があり、地点Dには神社の地図記号が記されています。地点Cから見て地点Dが図面の右下方向に位置しているとき、地点Cから見た地点Dの方位として正しいものはどれですか。（2017年 埼玉県公立入試 類似）
1. 南西
 2. 北東
 3. 南東
 4. 北西